

# <10月 ハロウィンランタン>



やさしい K-ART

2025年10月のテーマ《ハロウィンランタン》

穴をたくさんあけます。  
キャンドルの光を利用して、明るい部屋と暗い部屋  
で見え方の変わるランタンを作りましょう！

1. 加工済み黒画用紙 1枚
2. クリアシート
3. 穴あけ棒
4. 下敷き
5. クリアケース
6. キャンドルランプ
7. カラーペン



## <テーマを決める>

10月31日は「ハロウィンの日」という季節性のイベントから海外の文化を学びながら、身近に飾れるランタンを作ります。

ハロウィンといえば、「かぼちゃをくり抜いて作るランタン」のイメージがありますが、ハロウィンってなに？ということを知りましょう。

元々、2000年以上前に古代ケルトの人たちの「悪魔を祓うためのお祭り」だったと言われています。ケルトというのは、イギリス（イングランド）の一部とアイルランド、スコットランド・フランスの一部のあたりと言われています。そのお祭りがアメリカに伝わって、かぼちゃでランタンを作るようになって、今の日本に伝わってきたそうです。

10月31日がハロウィンの日ですが、ケルトの人たちの新年は11月1日から始まるということで、日本の大晦日がこのハロウィンというお祭りの日だったようです。

また、このランタンから、「光」の見え方もランタン作りを通じて学んでいきましょう。

## <問い合わせる>

「ハロウィンって知ってる？」

「ハロウィンってどんなイメージ？」

「ハロウィンでどんなことをするのかな？」

「ランタンは明るい部屋だとどう見えるかな？」

「ランタンは暗い部屋だとどう見えるかな？」

ハロウィンと光について掘り下げる質問をしていきます。

## <環境をデザインする>

画用紙に穴を開ける作業を集中して取り組めるように、子どもたちにとってできるだけ安全で疲れにくいような道具の準備しました。

身近なところに飾って愛着を持てるような作品を作ります。

# <10月 ハロウィンランタン> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



## <探究活動を実践し、記録する>

10/14 (4歳児)

今回は、大きく2つの作業があります。  
「黒い紙に穴を開けること」  
キリよりも危なくないオリジナルの穴あけ棒で  
黒い紙に穴を開けますが、安全に穴あけができるよう注意点を伝えて、しっかり話を聞いてびっくりするほど集中して穴あけ作業に取り組んでいました。いつも少し落ち着きがない子もとても集中して取り組んでおり、順調に進みました。

「見える光をカラフルにするために色付けすること」  
疲れた手を癒すように、ペンで自由に色塗りをして、楽しく作業が進みました。



# <10月 ハロウィンランタン> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



## <探究活動を実践し、記録する>10/21（4歳児）

今回は、前回の続き穴あけ棒で黒い紙にプスプスと地道に穴を開けていきますが、もうやり方を覚えているので簡単な安全確認をしたら、すぐに取り掛かりました。この集中するまでの速さは、今までのレッスンの中でもNo.1だと思います。途中で、手が疲れたり、少し飽きたりもしますが、やるべきことが明確で、自分でやっている状況が見えて、残りがどのくらいあるかということがわかっていると「やりきろう」というパワーと集中力が出るものだなと思いました。やり切った後、ケースに入れる時、ロウソクライトを入れて灯りをつけた時、キラキラした笑顔が輝いていました。

# <10月 ハロウィンランタン> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



<探究活動を実践し、記録する> 10/14 (5歳児)

「黒い紙に穴をあけること」

穴あけ棒の尖った部分を怖がる子もいましたが、穴を開け始めるとみんな集中して取り組みはじめました。

さすがの5歳児クラスは、ものすごく集中してすごいスピードで丁寧に仕上げる子もいました。絵を描くということとはまた違った作業で、子どもたちの新しい得意不得意も知ることができました。

「見える光をカラフルにするために色付けすること」

緊張と緩和で、自由に塗りたい色を塗りたいように塗っていいよということで思い思いのままに塗って色塗りが完成しました。

# <10月 ハロウィンランタン> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



お家に帰ったら  
一番暗い部屋でライトをつけてみてね！  
真っ暗だとどんなふうに見えるかな？

## <探究活動を実践し、記録する> 10/21 (5歳児)

5歳児クラスさんもすぐに集中モードで穴を開け始めました。既にある程度穴あけができている子も多かったので、丁寧にやり切るように進めました。みんな集中してしっかりとやり切ってくれたので、ローソクライトが入ると「うわ～きれい～」と満足そうでした。本当に今回のプログラムでは小さい子たちの集中力にびっくりしました。午前中だと真っ暗にならないので、光が透けてくる感じがわかりにくいのですが、家に帰って暗いところで見るとみんなが塗った色の感じもしっかりと見えるのでお試しください。